



セッコク

大雄山最乗寺は足柄ふれあいの村から徒歩四十分ほどです。地元の人たちは親しみを込めて道了さんと呼びます。山寺のお堂を巡る径の両側からは青紅葉が枝を広げ圧倒されます。青々とした中に白い花が見えます。幹に着床したセッコクです。清楚な白い花は苔むしたモミジの太い腕に守られて参道を照らしているようです。

曹洞宗大本山のここには修行僧の姿もあります。修行の合間に見上げることもあるでしょうか。

ふうっと息をつけば、これからの厳しさを乗り越える力が沸いてくるでしょう。

道了さん



今、ふれあいの村では・・・

瑞々しい新緑が溢れる季節となりました。ふれあいの村の通路は木々の若葉が繁り、陽射しを適度に遮り快適に散策することができます。

◆草むらの中に薄緑色の大きな蛾がいました。オオミズアオです。大きさは十センチメートルほどある大きな蛾ですが、成虫になると口がなくなってしまう。成虫は一週間程の短命であるため、その稀少性から幸運の象徴とされているそうです。

◆最近、村内ではアナグマをよく見かけます。クマと名付けられています。大人しい性格で、人が近づいてもすぐには逃げずどこか愛嬌があります。古くから日本ではタヌキ、ハクビシンなどとともにムジナと呼ばれています。



アナグマ



オオミズアオ



ハウチャクソウ



カヤラン



ジャコウアゲハ卵



オオカギバ

キユウリグサ

舗装の切れ目や石のまわりなどにも細い茎の草や花を見つけるとあるよね。キユウリグサもそんな草のひとつだよ。

まだ寒さの残る春に、地面につつくように葉が出てきて中心から花の茎が立ち上がり、小さな花が咲くんだ。花は淡い青紫色で中心は黄色っぽい。花の茎はぐんぐん伸びて大人の長靴くらいの高さになるよ。

何でキユウリグサという名前なのかは、葉っぱをもんで目を閉じて匂いを嗅いでみてね。



★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



ヤマカガシ



モリアオガエル

気温の上昇とともに生き物の活動も活発になってきました。

◆切り株の上に背中に光沢のある緑色の昆虫を見つけました。ヒメツチハンミョウです。

幼虫はハナバチの仲間の巣に入り込み、ハナバチの花粉団子を食べ成長します。成虫は飛ぶことができないため、外敵から身を守るために脚の関節から毒の体液を出すので注意が必要です。

◆ふれあいの村では今の時期蛙やオタマジャクシを頻繁に見かけます。それらを求めて、蛇も見かける機会が多くなりました。ヤマカガシもその一つです。「カガシ」とは日本の古語で「蛇」を意味します。一般的には大人しい性質ですが、毒を持っていますので見つけてもそっと見守りましょう。関東では体の側面が赤と黒の斑紋が交互に入りますが、地方によって異なるようです。



クサイチゴ



ヒメツチハンミョウ

【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村に電話（0465-72-2010）されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

「天狗の里1ウィークチャレンジ」のご案内

「チャレンジ」をテーマとした本格的な長期キャンプです。自身の頑張り仲間との協力により様々な体験を乗り越えながら、一緒に濃密な1週間を過ごしましょう！

実施日) 令和7年8月3日(日)～9日(土)【6泊7日】

会場) 足柄ふれあいの村

対象) 小学校4年生～中学生

定員) 35名

参加費) 60,000円

申込期間) 令和7年5月5日(月)～令和7年6月27日(金)

★来月のファミリーコミュニケーションの日：7月6日(日)

10:00～12:00《自然観察会》夏の森の生き物さがし

※参加費は無料です。

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。

※申込み・問合せは電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村（南足柄市広町1507）

電話：0465-72-2010 F A X：0465-72-2013

指定管理者：株式会社アグサ

所管課：神奈川県教育委員会教育局支援部 子ども教育支援課

U R L：http://www.ashigara-fureai.com/